

令和5年度に係る自己点検・評価の報告書

令和6年6月17日
部局名：医学部医学科

1. はじめに

医学部医学科では、令和6年4月15日付け通知に基づき、令和5年度に係る教育課程、学生支援、学生受入、研究及び総務に関して自己点検・評価を実施し、その結果を以下のとおり報告する。

2. 実施体制・手順

教育課程については医学部医学科教務委員会、学生支援については項目によって所掌が異なるが、主に教務委員会や厚生補導委員会、また、学生受け入れについては入試委員会の各委員長を中心として、根拠となる資料を収集・確認の上で自己点検・評価案を作成した。その後、それぞれの委員会で審議し、承認を得た。

研究に関する事項については、研究倫理を順守するために、大きく2つの事項で措置を講じている。ひとつめの措置である規程等の整備では、研究倫理にかかる各種審査等を行う委員会規程・内規を中心に整備状況を確認し、もうひとつの措置である教育研修の実施では、コンプライアンス教育、研究倫理教育の2つについて実施状況を確認した。

総務に関する事項については、根拠資料を収集し、点検・評価を行った。

その後、上記のとおり活動毎に行った自己点検及び評価の結果について、医学部医学科会議において審議し、承認を得た。

3. 総括

各項目について自己点検・評価した結果、ほぼ全ての項目において「適切である」の結果が得られた。

【教育課程に関すること】1-2-38、1-2-39

「注意を要する」

卒業生や、卒業生が働く環境からのアンケート調査の回収率を上げ、情報収集をより確実にする。

【学生受入に関すること】6-2-6

医学教育分野別認証評価において、「全学的に入学決定に対する疑義申し立て制度を採用することが望まれる」との示唆があり、全学的に取り組む必要がある。

4. 前年度の点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（前年度の点検・評価実施時点で対応済のものを除く。）の対応状況

該当なし

5. 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項のうち主要なもの

該当なし

6. 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題のうち主要なもの

【学生受入に関すること】6-2-6

医学教育分野別認証評価において、「全学的に入学決定に対する疑義申し立て制度を採用することが望まれる」との示唆があり、全学的に取り組む必要がある。

7. 点検・評価の結果、「注意が必要」とした事項に対し、維持・向上させるための活動計画のうち主要なもの

【教育課程に関すること】1-2-38、1-2-39

医学科企画室、医学科IR室、教務委員会でアンケート項目の精査とウェブ化を進める。

8. 点検・評価の結果、優れた成果が確認できる取組のうち主要なもの

【教育課程に関すること】 1-2-41

【学生支援に関すること】 5-2-12

【学生受入に関すること】 6-2-6

上記のいずれにおいても、医学教育分野別認証評価を活用し、適切性を定期的に自己点検・自己評価を行うとともに、外部評価も実施している。特に令和5年度においては、書面調査と実地調査を受け、国際基準を満たしていることが認定されたことから、優れた成果が確認できる取り組みであった。